

■必修領域

講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間		主な受講対象者	受講料	受講人数
【必修】教育の最新事情(幼稚園)	平成29年3月告示の新しい「幼稚園教育要領」の全体像を俯瞰しつつ、主な改訂のポイントを学びその実践のありようについて具体的に学ぶ。また諸外国の取り組みにも学びながらわが国における「幼児教育」の質の捉え方、さらには質の向上に寄与する教職者としての倫理観に基づく組織的な取り組みのありようについて考察を深める。 また子どもの生活の変化を踏まえた発達課題について心理学的知見から解説する。特に共生社会をめざす現在のインクルーシブ教育にあつて個々の子どものよりよい成長・発達を保障するための教育支援計画に基づいた園内外の連携・就学移行支援等、個別ニーズに応じた教育実践のあり方を考察する。(幼稚園教諭のみ)	那須 信樹(教育学部教授) 吉川 昌子(教育学部教授)	6時間	2019年8月7日		幼稚園教諭	6,000円	70人
【必修】教育の最新事情(小学校)	児童の発達に関する近年の知見から、他者や自己に対する態度、動機づけや情動反応の調整といった非認知的スキルの研究を紹介し、それらのスキルを活用し伸長させる協同的な学びとその効果について考察する。 近年の国の教育施策や世界の教育動向のなかで、日本の学校教育のあり方を考察する。また、学校外での子どもの居場所論や子ども支援について紹介するとともに、教育論について考察する。	松田 武雄(教育学部教授) 野上 俊一(教育学部准教授)	6時間	2019年8月7日		小学校教諭	6,000円	90人

■選択必修領域

講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間		主な受講対象者	受講料	受講人数
【選択必修】多面的観点から見る教育改革の動向と我々の課題	今日の時代が直面するグローバル化や情報化などの急激な社会変化に対応出来る新たな教育について、先般改訂の「学びの地図」としての学習指導要領及びその他の教育情報を参考に考察を加える。とくに、学習過程の改善や生徒指導などの課題に関しては、具体的な先行事例も取り上げて、今後の教育活動に活かす方策を検討する。	占部 賢志(教育学部教授)	6時間	2019年8月8日		幼稚園、小学校、中学校、高等学校教諭	6,000円	100人
【選択必修】小学校におけるICT活用について	小学校における教育の情報化や授業に役立つICT活用の指導事例(情報モラル、電子黒板、デジタル教科書、プログラミング教育)を解説します。 また、小学校の授業で活用できるプログラミング教育の講習として、教育ロボットキットによる車の走行やプログラミングの実習を行います。 さらに、動画編集の操作技術を習得できる実習を行います。	新ヶ江 登美夫(教育学部教授)	6時間	2019年8月8日		小学校教諭	6,000円	40人
【選択必修】多様な問題に対応する教育相談	いじめ、不登校、発達障害、児童虐待など教育相談において対応する諸問題は、それぞれに関連しあっています。本講習では、それら諸問題に対しての現状と最新の知見について確認します。また現在では、教育相談においてもチーム学校としての取り組みが求められています。様々な問題に対してチームとしてどのような役割分担や取り組みが可能なのか、受講者の先生方と共に考えていきたいと思います。	松藤 光生(教育学部講師)	6時間	2019年8月8日		幼稚園、小学校教諭	6,000円	100人

■ 選択領域

講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数
【選択】アクティブラーニングを活用した小・中学校家庭科の在り方	人生100年時代において、子ども達個人に対応した食事の在り方とその評価方法、排便の大切さについて学ぶ。また、新学習指導要領における生活の営みに係る見方・考え方を働かせる実践的・体験的な活動について、特に衣生活の面から具体的に考える。この観点から、家庭科担当教諭以外も対象とする。	三成 由実(栄養科学部教授) 筒井 恵子(栄養科学部特任教授)	6時間	2019年8月6日	教諭	小学校、中学校教諭	6,000円	20人
【選択】幼児期の運動発達と運動学習	本講習では、幼児期の運動発達と動きを獲得(運動学習)する際の理論的背景について講義と実習を行う。講義内容は、運動を遂行するための情報処理過程における感覚受容器や神経また中枢の機能の概説および運動による前頭前野の実行機能や記憶機能の変化について、また、実習では、前庭器官や固有感覚器の機能が関係する各種運動の感覚について講習を行う。	古賀 範雄(教育学部教授) 中野 裕史(教育学部教授)	6時間	2019年8月6日	教諭	幼稚園教諭	6,000円	30人
【選択】二酸化炭素の実験	本講習では、呼吸や物の燃焼など、小学校理科の生物学分野・化学分野で取り扱う代表的な物質である二酸化炭素を題材に講義と実習を行う。前半は、講義により化学の基礎を復習し、特に化学反応の定量的理解を深める。後半は、化学実験基礎技術の実習として、二酸化炭素を調製してその性質(水溶液の性質、温度と溶解度、塩基との反応、石灰水との反応など)を確かめる実験と実験廃液の適切な処理を行う。	相良 康弘(教育学部教授)	6時間	2019年8月6日	教諭	小学校教諭(中学校理科教諭も可)	6,000円	32人
【選択】保育の営みから捉える「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」	・平成30年幼稚園教育要領改訂を踏まえた、保育活動の充実についてグループワークを行います。 ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」について、保育実践の中でどのように具現化していくのかを考察します。講習に参加される方々の園での取り組みと10の姿を育む視点について、活動の捉え方と理解を深めることを目的とします。	櫻井 裕介(幼児保育学科講師)	6時間	2019年8月6日	教諭	幼稚園教諭	6,000円	50人

講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数
【選択】「思春期の健康」と「家庭科における探究的な学び」	高校生を取り巻く環境が大きく様変わりしていますので、人生100年時代を生き抜くための健康な身体づくりをめざし、「思春期から考える骨粗鬆症・サルコペニアの予防」を題目とした講義に続き、新高等学校学習指導要領で求められている指導の在り方を展望したいと考えます。家庭科における探究的な学びを実現するため、講義・演習をとおして、学習内容を貫く4つの視点をもとに、食の領域で問題解決の学習プロセスを追及します。	河手 久弥(栄養科学部教授) 萩尾 久美子(栄養科学部准教授)	6時間	2019年8月22日	教諭	高等学校教諭(家庭科)限定	6,000円	20人
【選択】新学習指導要領が示す教科観と図画工作科の指導	小学校教員を志望する本学教育学部3年生147名に行った「学生自身の図画工作科の授業に対する意識調査」結果から、新学習指導要領の目標・内容と指導のあり方等について再考する。他教科に比べて教科観をつかみにくい図画工作科において、子ども主体の表現・鑑賞活動を展開し、子ども一人一人が「つくりだす喜びを味わう」授業づくりのための教師の役割について考える。	吹氣 弘高(教育学部教授)	6時間	2019年8月22日	教諭	小学校教諭	6,000円	60人
【選択】未来の保育者を育む実習指導における教師の役割とは-指導計画と評価の展望-	幼稚園教諭や保育教諭等職員には適切に役割を分担し連携しつつ教育課程や全体的な計画、指導の改善を図ることが求められている。そこで各園では日常の教育および保育に加え、保育者養成校と連携を図り教育実習生を受け入れ、独自の教育実習指導計画に基づいた指導が実践されている。本講座では、前半に各園での実習日誌や評価票、実習生の実態から検討し、後半にこれからの保育者を養成する実習内容の方向性を提案するものである。	山田 朋子(教育学部准教授)	6時間	2019年8月22日	教諭	幼稚園教諭	6,000円	30人
【選択】ピアノ演奏表現～音楽の味わいが伝わる演奏法～	幼児教育の場において弾き歌いやピアノ演奏を行う時、子どもたちに音楽の味わいや雰囲気伝えることができるよう、ピアノ演奏の表現力を高めることを目的とする。演奏表現において大切なことを講義で学んだ後、1～2曲の楽曲を用いて実技演習を行うとともに、実技指導を通して演奏法について学びを深める。	吉松 遊佳(教育学部講師)	6時間	2019年8月22日	教諭	幼稚園教諭	6,000円	15人
【選択】幼稚園教諭養成の現状と課題	新規採用幼稚園教諭の特性を理解する手段として大学や幼稚園教諭養成制度の変化の実態を概説する。さらに、養成校と幼稚園の架け橋である幼稚園教育実習の内容の変化と学生の受け止めについてアンケート結果等により紹介する。さらにグループワークで受講者の体験の省察と共有を行い、今後の幼稚園教育実習や新人教育の取り組みに資することを目的とする。	松尾 智則(幼児保育学科教授)	6時間	2019年8月22日	教諭	幼稚園教諭	6,000円	60人

講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数
【選択】言葉の発達と絵本	乳幼児の言葉の発達と絵本の与え方についての講義を行なう。できれば絵本の保育への展開にも言及したい。育みたい資質・能力を理解しておいてほしい。	古相 正美(教育学部教授)	6時間	2019年8月23日	教諭	幼稚園教諭	6,000円	140人
【選択】ボール運動領域に求められている学びとは	本講習は、「ボール運動における授業づくり」を大テーマとしている。前半は、体育授業において子どもと教師がどのような関係性を持ちながら高い学習成果(よい授業)へと結びついていくのかについて講義形式で解説する。後半は、フットボールの教材を用いて、系統的な技術指導と指導の順序について実際に体験しながら学びを深めていく。ボール運動領域全般の内容に触れる予定である。	中島 憲子(教育学部准教授)	6時間	2019年8月23日	教諭	小学校教諭	6,000円	30人
【選択】初めての協同学習	協同学習の基本的な考え方を理解し、いくつかの技法を体験的に理解することが本講習の目標です。協同学習とは、互恵的な協力関係に基づいた相互交流によって、全ての学習者が成長することを目指すものです。単にグループで学習することは協同学習ではありません。協同学習の技法の背景にある理念や原理を理解することによって、教室での応用ができるようになることを目指します。講習者同士で協力して協同学習を学ぶ講習です。	野上 俊一(教育学部准教授)	6時間	2019年8月23日	教諭	幼稚園、小学校、中学校、高等学校教諭	6,000円	40人